
言語研究センター共同研究

『良友』画報と上海文学

孫 安 石

『良友』画報を取り上げた本研究は、2007年9月に雑誌『アジア遊学』に『良友』を取り上げた特集号（勉誠出版）を出版し、2009年4月に（1）『良友』と『永安月刊』の講読会、孫安石「North China Heraldと中国の北伐関連記事」を開催し、7月には（1）中村みどりの書評「巖安生『陶晶孫その数奇な生涯—もう一つの中国人留学精神史—』（岩波書店、2009年）レビュー、（2）趙怡「金子光晴・森三千代と上海について」、（3）後藤「香港における40年代映画の収蔵、修復」などを開催することができた。

2014年には6月に非文字資料センター主催の租界班研究会において孫安石が「上海新報」につ

いて報告を行う際、上海の『良友』画報の研究状況について報告し、7月18日に行われた商業ポスターの報告（田島奈緒子氏）においても『良友』関連のポスターについて紹介する時間を持つことができた（<http://himoji.kanagawa-u.ac.jp/>を参照）。また、12月5日に開催された非文字センターの租界班の拡大会議においても「『占領者日本の「支那」女性像と抗戦中国の女性像：『北支画刊』・『北支』と『良友』から考える』」松本ますみ（室蘭工業大学）」の報告が行われた。

2015年度には学内共同研究助成に応募するなど外部資金の導入により、さらなる研究会の活性化を図りたい。